

寄贈図書リスト

ブラックホール, マーシャ・バトウーシャク著, 山田陽志郎訳 四六判, 288頁, 2,600+税, 地人書館

ハッブル 宇宙を広げた男, 家正則 新書判, 並製, 240頁, 900円+税, 岩波書店
スーパー望遠鏡「アルマ」が見た宇宙, 福井康雄編著 四六判, 212頁, 1,800円+税, 日本評価社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台特任研究員

1. 年俸制職員 (プロジェクト研究員) 1名
2. (1) 国立天文台 SOLAR-C 準備室
(2) 東京都三鷹市大沢2-21-1
3. 太陽物理学
4. SOLAR-C 準備室は, 宇宙科学研究所 (ISAS/JAXA) と協力して, 次期太陽観測衛星 SOLAR-C の実現を目指しています。以下のプロジェクト研究活動に積極的に参加する研究員を求めます。
(1) 観測ロケット搭載の Chromospheric Lyman-Alpha Spectro-Polarimeter (CLASP; <http://hinode.nao.ac.jp/KakenS/study-CLASP.shtml>) の2回目の飛翔実験 CLASP-2 や大型気球実験 Sunrise-3 に向けた科学検討・装置開発研究。
(2) 次期太陽観測衛星「SOLAR-C」(<http://www.nao.ac.jp/project/solar-c.html>) の実現に必要なとされる研究 (想定される観測装置の開発研究のほか, 得られる観測データから磁場を導出するための基礎研究など)。なお, プロジェクト研究員はプロジェクト長と相談のうえで, 勤務時間の半分までは所属プロジェク

ト業務を行う義務があります。

5. (1) 平成28年11月1日以降。
(2) 原則として着任日より3年間ですが, 年度ごとに業績評価を受けていただくこととなります。ただし, 平成16年4月以降, 既に国立天文台にプロジェクト研究員または短時間契約職員のうち研究員として勤務した期間がある場合, 通算雇用期間が5年を超えないように設定されます。再任は審査のうえ, 1回に限り可能です。ただし再任後の雇用期間は2年以下で, 通算雇用期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。
6. 博士の学位を取得した者または着任日前までに学位取得見込みの者。プロジェクト業務として装置開発にも携わっていただきますが, 装置開発のこれまでの経験は問いません。
7. (1) 履歴書 (2) 研究歴 (個人としての研究業績の他に, 多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は, 果たした業績を具体的に記入してください。) (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の場合は本人の役割分担を記してください。) (4) 主要論文のコピー (3編まで) (5) 研究計画書 (6) 推薦書を頼む場合は, 推薦者の名前 (2名以内)。推薦書は推薦者が応募締め切りまでに提出先へ送ること。
8. 平成28年9月26日(月) 正午 (日本標準時) 必着
9. (1) 応募書類・推薦書とも apply_pd_20160926_AT_ao.ac.jp (`_AT_`を@で置き換えてください。以下同様。) (2) 応募に関しては, 国立天文台事務部総務課人事係 e-mail: apply-qa_AT_ao.ac.jp, 職務内容に関しては, 国立天文台 SOLAR-C 準備室 一本潔 e-mail: kiyoshi.ichimoto_AT_ao.ac.jp 宛て。質問の際のメール件名は, 「SOLAR-C プロジェクト研究員公募への質問」とし

てください。

10. すべての応募書類（上記7.の（1）～（6））はPDFファイルに変換し、メールに添付してください（メール1通につき、最大10MB程度まで）。応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールを送りますので、それが届かない場合には、上記問合せ先に連絡してください。
11. 裁量労働制の常勤職員として月額給与35万円のほか、通勤手当が支給されます。年間50万円の研究費が配分されます。着任のために必要と認められる転居を行う場合には赴任旅費が支給されます。文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。科学研究費助成事業への応募資格があります。

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。

詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

2017年東アジア中核天文台連合 (East Asian Core Observatories Association (EACOA)) フェロー

東アジア中核天文台連合(EACOA)は、研究協力を促進するために作られた東アジアの四つの主要な天文研究機関：中国科学院国家天文台、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究所、台湾中央研究院天文及天文物理研究所の連合体です。

EACOAは優秀な若手人材を対象として、2012年からEACOA Fellowshipを創設しました。公募対象は天文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です。任期は3年です（さらに2年（最長合計5年まで）延長が可能です）。自立した研究者として、さらにEACOA各機関に属する研究者との連携を図りながら、研究活動を行っていただきます。身分はEACOAの機関の博士研究員扱いです。任期中に少なくとも二つ以上のEACOA機関（1機関につき最短でも1年間以上滞在）で研究していただくことが採用の条件です。

1. 研究員 若干名
2. (1) 受入れ研究者の所属による
(2) 中国科学院国家天文台（紫金山天文台、上海天文台を含む）、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究所、台湾中央研

究院天文及天文物理研究所のいずれか、本人の希望による。

3. 天文学、天体物理学
4. 各自の研究や開発に専念
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 3年（審査を経て、さらに2年（最長合計5年まで）延長可能）
6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者、国籍は問わない、英語での意思疎通が可能なる方
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究計画、(4) 受入れ研究者の確認書、(5) 論文リスト
8. 2016年11月15日
9. (1) <http://www.eacoa.net/job/>
(2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室
naojglobal@gmail.com
10. 中国科学院国家天文台、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究所、台湾中央研究院天文及天文物理研究所のいずれかにEACOA Fellowの受入れ研究者が必要です。応募者は、応募する前に受入れ研究者を決めて、連絡を取ってください。EACOAでは、上記各機関が受け入れるフェローの人数がなるべく均等になるようにするため、2017年は中国科学院国家天文台での研究を希望する方が有利になります。

書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。

以下のwebページを熟読のうえ、応募してください。

<http://www.eacoa.net/program2017.php>

11. 月額US\$5,000の給与、年間約US\$20,000の研究費、旅費、引越費用等が支払われます。
審査にあたって追加書類の提出を求めることがあります。提出書類はお返ししません。
採用審査はEACOA審査委員会が行います。結果は2017年2月末までに直接応募者に通知されます。

国立天文台研究教育職員（重力波プロジェクト推進室助教）

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台重力波プロジェクト推進室
(2) 東京都三鷹市
3. 重力波天文学
4. The main task is to do research and development for the realization of the KAGRA project and its future upgrades. In particular the selected assis-

tant professor will work on the optical systems. He/She will contribute to the development of the main mirrors for the KAGRA interferometer, the instrumentation for their characterization and the research & development for their future improvements. The assistant professor will play a leading role in the research & development program that uses the TAMA facility to prepare future upgrades of KAGRA, including the development of a frequency dependent vacuum squeezed source. In this context he/she will be responsible for the coordination of activities at the TAMA laboratory and the supervision of the students doing their research project there.

5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし(定年65歳)ただし、採用5年目に助教としての再審査を行い、ほかの適切な職務に異動していただくことがあります。
6. The applicant must have, or must be expected to have soon, a Ph.D. degree in physics, astronomy or related fields. An expertise in the field of gravitational wave detectors is required. Fluency in English is necessary.
7. (PDF file(s) in English) must include
 - (1) Cover letter with face picture
 - (2) Curriculum Vitae
 - (3) Summary of past research activities
 - (4) List of publications (separate refereed and non-refereed papers and the role of the applicant for each)
 - (5) PDF copy of three major publications
 - (6) Outline of research plans for this position
 - (7) Names and e-mail addresses of two or more reference persons
 - (8) Two or more reference letters (please ask the reference persons to send the letter attached to an e-mail to the submission address shown in 9. (1) to arrive before the application deadline.
8. 2016年11月18日(金)日本時間17時必着
9. (1) 応募書類は下記宛先までお送りください。
e-mail: apply-gwpo-assis20161118_AT_ao.ac.jp (_AT_ を@で置き換える, 以下同様)
メールの件名は“Application for assistant professor of Gravitational-Wave Project Office”とすること。
(2) 国立天文台重力波プロジェクト推進室長

Prof. Raffaele Flaminio

e-mail: raffaele.flaminio_AT_ao.ac.jp

※メール連絡のみ

メールの件名は“Application for Assistant Professor”とすること。

10. • PDFファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(メール1通につき最大10MB程度まで)。
• 応募書類受理の後、祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。もしも届かない場合には、apply-gwpo-assis20161118_AT_ao.ac.jpへお問い合わせください。
11. • 本公募により採用された場合の給与待遇は、年俸制となります。
• 自然科学研究機構職員旅費規程に基づき、着任のために必要と認められる転居を伴う場合には赴任旅費が支給されます。
• 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

国立天文台 SOLAR-C 準備室助教

1. 2016年2月(第109巻第2号)
2. 成影典之(国立天文台・特任研究員)
3. 2016年7月1日

賞の推薦

山田科学振興財団 2017 年度研究援助候補者推薦依頼

[援助の趣旨および内容]

1. 本財団は自然科学の基礎的研究に対して、研究費の援助をいたします。評価が定着して研究資金が得やすいものより、萌芽的で将来の発展が期待される基礎研究の計画を重視します。実用指向研究は援助の対象とはしません。推薦応募に際しては下記を考慮してください。

- 1) 萌芽的・独創的研究
 - 2) 新規研究グループで実施される研究
 - 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
 - 4) 国際協力研究
2. 援助額は1件当たり100～500万円、総額3,000万円、援助総件数は山田科学振興財団全体で15件程度です。
3. 援助金を給与に充てることはできません。特に財団が指定した場合を除き、給与以外の用途は自由です。
4. 援助金の使用期間は、贈呈した年度およびその次の年度の約2年間とします。
- 研究援助募集要項は、財団のHPを参照してください。
<http://www.yamadazaidan.jp/>
 日本天文学会への応募は以下のように行ってください。
 [日本天文学会締切日] 2017年1月24日(火) 必着
 申請書は、メールのPDF添付ファイルとして下記のアドレスにお送りください。
 また、件名は、「山田科学振興財団 2017年度研究援助応募 氏名…」としてください。
 受け付けましたら確認のメールを差し上げます。
 ご質問等は下記アドレスにご連絡ください。
 申請書送付アドレス: jimucho@asj.or.jp
 [本学会からの推薦件数]
 日本天文学会からの推薦件数は3件までとなっております。応募された研究提案は日本天文学会が審査を行い3件以内を山田科学振興財団に推薦致します。ちなみに昨年度は日本天文学会より3件を推薦し、1件が採択(援助額250万円)されております。

研究会・集案案内

京都大学花山天文台一般公開のお知らせ

京都大学花山天文台では、来たる11月5日に一般公開を行います。花山・飛騨天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明しますので、お気軽にお申込みください。

(入場無料、45 cm屈折望遠鏡による観望のみ有料)

〈日時〉 2016年11月5日(土) 13時から20時

〈内容〉 望遠鏡による天体観望(昼:太陽,夜:月など)。講演会。

飛騨天文台で観測中の太陽画像の紹介。

4次元デジタル宇宙シアター(国立天文台開発のミタカに、京大発のコンテンツを追加し、3D宇宙へライブ解説でご案内)。

太陽黒点スケッチや工作などの各種体験コーナー。

〈交通機関〉 京都市営地下鉄東西線蹴上駅(1番出口)よりシャトルバスを運行します。

自家用車でもお越しいただけますが、駐車場の数に限りがありますので、なるべくシャトルバスをご利用ください。

〈申込方法〉 インターネットでの事前申込みが必要です。

花山天文台のホームページ

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

申込受付期間: 9月29日(木)から10月20日(木)

定員: 300名 [申込み多数の場合は抽選]

45 cm屈折望遠鏡による観望は、定員100名 [対象年齢: 小学生以上]

抽選結果は10月末までに返信します。

〈問合せ〉 Tel: 075-581-1235

e-mail: kengaku-kwasan@kwasan.kyoto-u.ac.jp

e-mailの場合、件名を「11/5一般公開」としててください。

〈主催〉 京都大学大学院理学研究科附属天文台, 認定NPO法人花山星空ネットワーク

〈後援〉 京都府教育委員会, 京都市教育委員会

会務案内

日本天文学会会長候補者選挙に関する公示

2016年9月20日

選挙管理委員会委員長 酒向重行

選挙管理委員会は、2017年度最初の理事会で決定される会長候補者(任期: 2017-2018年度の2年間)の選挙を、定款に沿った「会長・副会長・理事・監事選挙細則」に基づき、以下のとおり実施します。

9月20日(火): 選挙公示

9月20日-10月19日: 候補者募集期間

11月11日(金): 推薦された候補者が2名以上の場合、正会員へその候補者の氏名、所信表明もしくは推薦書等、および投票用紙を発送

11月11日(金)-12月9日(金): 投票期間

12月12日(月): 開票

1. 選挙権および被選挙権を有するものは公示の時点における正会員とする。ただし、会長経験者および日本天文学会理事長経験者は被選挙権をもたない。(細則第4条)
2. 選挙に先立ち正会員から候補者を募集する。この場合正会員5名以上の推薦を必要とする。推薦に当たっては、候補者本人の承諾書、および所信表明もしくは推薦書の添付が必要である。(細則第5条)

3. 推薦された候補者が1名の場合は、投票を行わず、選挙管理委員会は推薦された候補者を会長候補者とする。(細則第6条)

4. 投票は無記名単記で行う。候補者以外への投票は無効とする。得票数の最も多いものを、最大得票を得たものが複数ある場合は、そのうちの最年長者を、会長候補者とする。(細則第8条)

5. 選挙管理委員会は選出された会長候補者を理事会、代議員に報告するとともに学会誌上に発表する。(細則第9条)

訃 報

1986年4月~1996年5月まで事務長を務められた嵩地厚氏は2016年8月3日にご逝去されました。満90歳でした。ご冥福をお祈りいたします。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol98**(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成28年9月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所) / 0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2016年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)